

人生をあきらめない 若年性認知症と生きる

13日(日)



ストーリー

取引先を回って荷物を正しく配れたのか分からなくなり、配達先では自分の車の駐車場所が分からず30分以上探し回る…。埼玉県川口市の佐藤雅彦さん(62)はコンピューター関連会社に勤めていた51歳の時、若年性のアルツハイマー病と診断されました。上司に相談すると、暗に離職を勧められ、古里の親やきょうだいにも相談せず、25年間勤めた会社を辞めました。失意のどん底に突き落とされたものの、今はパソコンや携帯電話にメモを残して記憶力の低下と闘い、外出を手助けしてもらいながら自立した生活を送っています。「日本認知症ワーキンググループ」の共同代表の一人として、佐藤さんが訴える「認知症になっても希望と尊厳を持って生きられる社会」を考えました。

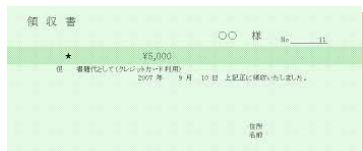


日曜朝は『S』で始まる——。ストーリーにご期待下さい。

このまま忘れてしまっているの？

国会議員の「白紙領収書」を問い直す

夕刊特集ワイド 14日(月)



「領収書をください」。多くの人が日常的に口にしている言葉です。いつ、誰が、何に、いくらのお金を使ったかを証明する大切な書類。ところが、菅義偉官房長官らが国会議員の政治資金パーティーで白紙の領収書を受け取り、あとで金額などを記入していたことが明らかになりました。この問題、「発覚」から1カ月余りしかたたないのに、早くも忘れられそうな気配です。永田町の常識は世間の非常識？ それでいいのでしょうか。あらためて追及しました。

若手が大活躍！

服部道子さんが明かす<女子ゴルフ>の秘密

オピニオン面 【そこが聞きたい】 17日(木)



高校3年生の畑岡奈紗さん(17)が女子プロゴルフの日本女子オープンで、史上初のアマチュア優勝を飾りました。一方で、まだ15歳の長野未祈さんも同大会の最終日を単独首位で迎えるなど、女子ゴルフ界では若手の活躍が際立っています。その秘密はどこにあるのでしょうか。かつて「天才少女」と呼ばれ、プロでも賞金王に輝いた服部道子さん=写真=に話を聞きました。



時代が見える——。オピニオン面にご期待ください。

女性リーダー、日本では

くらしナビA面 16日(水)



大接戦の末、今回の選挙で米国初の女性大統領は誕生しませんでした。翻って女性の政治進出が欧米より遅れているとされる日本では、近い将来、女性首相が誕生するのでしょうか。各政党に「男女のバランスが取れた候補者擁立」を呼びかけてきた政治学研究者は「日本もあらゆる分野で意思決定に女性が参画する制度作りを進める必要がある」と指摘します。

家族が心を病んだら

くらしナビA面 17日(木)から

統合失調症の患者は全国に77万人。未受診者を含めると、100人に1人の割合でかかるといわれています。治療薬やリハビリ方法の開発が進んでいますが、長期にわたる治療中に幻覚や妄想に悩まされることが多いのが特徴です。家族間に亀裂が入るのを恐れ、医療と縁遠くなることもあります。患者と家族が手を携え、パートナーとして闘病する方法を探ります。



おかん飯・安納芋



おんなのしんぶん 13日(日)



安納芋をよく洗い、オーブンの天板に載せて30分。皮がパンと張ると、もう食べごろです。「おかん飯」史上最も簡便なメニューで西原理恵子さんも「これが料理と呼べるのか」とびっくり。シナモンホイップも作ります。ボウルで生クリームと砂糖を泡立ててシナモンパウダーを混ぜるだけ。凝ればよいというわけではない「エダモン料理」の神髄を紹介します。